

## 杉並区が実施する主な青少年関連事業の概要

保健福祉計画(平成 27 年度～31 年度)では、青少年に対する事業を以下のように位置付けています。

### 目標 人を育み共につながる心豊かなまち

地域における多様なつながりの中で、心豊かで自立心を持った「次代を担う人」を育むまちを築きます。

また、誰もが文化・芸術や生涯学習・スポーツに親しむことのできる環境を備えたまちを目指します。

### 施策 子ども・青少年育成支援の充実

#### 現状と課題

- 次代を担う子ども・青少年が、視野を広げ、夢に向かって健やかに成長するためには、多様な体験・交流の機会を充実するとともに、それらに参加しやすい仕組みづくりが必要です。
- 女性の就業率の高まりを背景にした就学前の保育需要と同様に、年々増加している学童クラブの需要に的確に対応するとともに、より安全・安心な育成環境の整備が必要です。
- 子ども・青少年が、より幅広い支援を受けられたり、仲間づくりを進めることができるよう、放課後等の居場所の整備・充実が求められています。

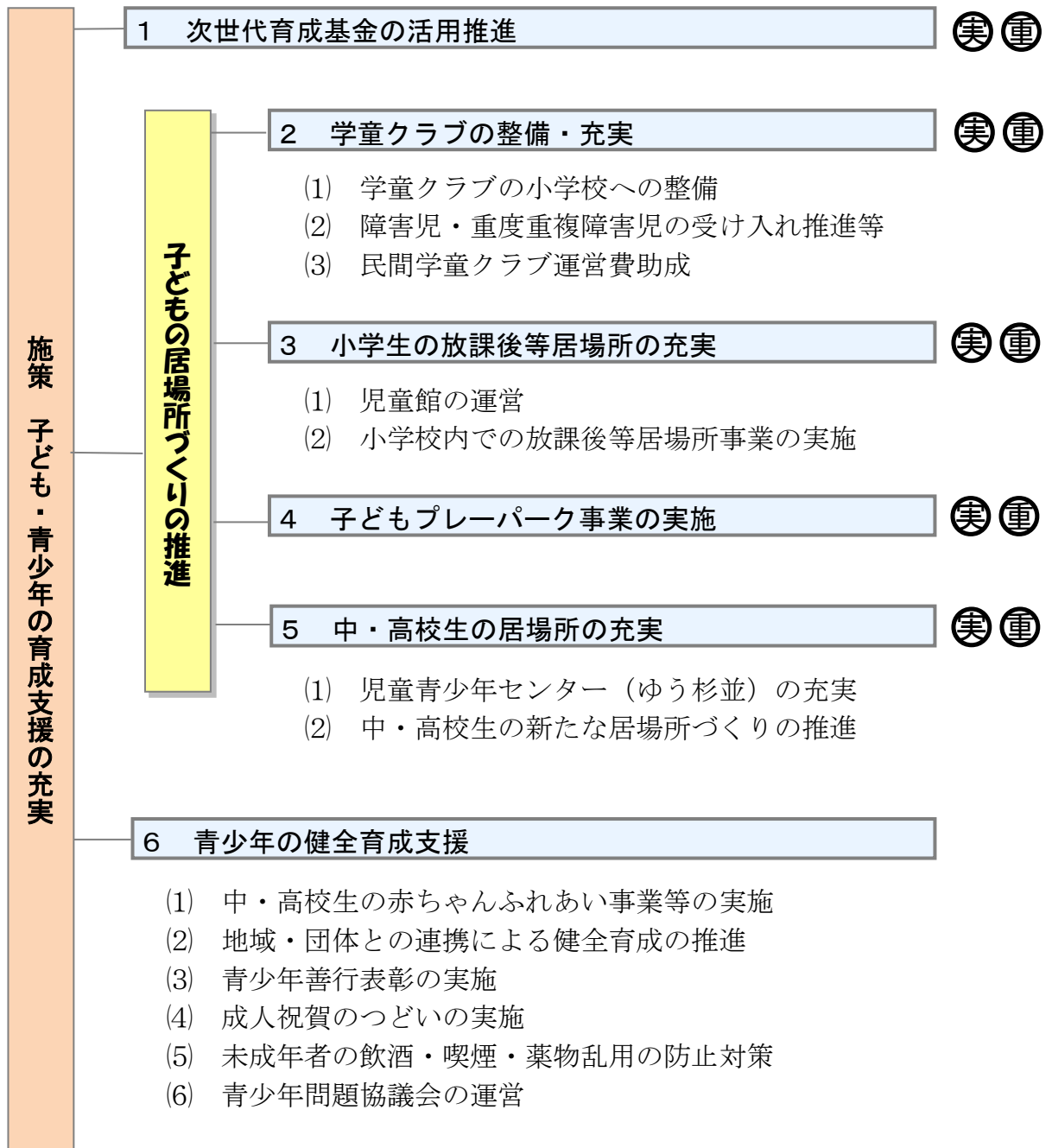
#### 施策の目標

- 子ども・青少年が、自主性・社会性などを身に付け、夢を描きながら健やかに成長するための支援の仕組みづくりが進んでいます。
- 学童クラブや放課後等の居場所の整備が推進され、地域の人や団体の支援を受けながら児童の健全育成環境の充実が図られ、安心して働きながら子育てができる環境が整っています。

### 施策推進の視点 子どもの居場所づくりの推進

子ども・青少年を取り巻く状況の変化等を踏まえて、より一層安全・安心で魅力ある、多様な居場所づくりを推進し、小学生及び中・高校生の健全育成支援の充実を図ります。

施策 子ども・青少年の育成支援の充実 体系図



実 「実行計画」の計画事業 重 重点推進テーマ取組事業

## 各事業の概要

### 1 次世代育成基金の活用推進

次代を担う子どもたちが、異なる国や地域の自然・文化・芸術に触れたり、スポーツ交流などの様々な体験事業に参加することを通して、将来の夢を抱き、夢に向かって健やかに育てるように、区の出資金及び一般からの寄附金を基金に積み立てています。積み立てた基金は、子どもたちの体験・交流事業の参加に必要な経費に活用しています。

[平成28年度活用事業]

活用事業名	対象児童・生徒数	基金活用額
子ども国内交流(名寄編・東吾妻編)	50名	2,653千円
小学生名寄自然体験交流	25名	829千円
交流自治体中学生親善野球大会	34名	2,074千円
中学生小笠原自然体験交流	30名	2,375千円
中学生海外留学	25名	6,284千円
チャレンジ・アスリート	129名	1,755千円
民間提案事業(3事業)	447名	2,458千円
10事業	740名	18,428千円

寄附実績(平成28年度) 710件 5,614,487円

基金残高(平成29年3月31日現在) 96,398,759円

### 2 学童クラブの整備・充実

学童クラブは、保護者の就労や病気などにより、昼間に家庭において継続して保護を受けられない小学生の生活の場です。特別支援児の受け入れも行っています。

[育成時間] 月～金曜日: 下校時から午後6時まで

※学校休業期間及びその他必要と認められる日は午前8時30分から

※利用時間延長が必要な児童は午後6時30分まで

土曜日: 午前8時30分から午後5時まで

[休日] 日曜日・祝日及び年末年始(12月28日～1月4日)

[設置状況] 49クラブ(児童館内36クラブ、小学校内11クラブ、単独設置2クラブ)

[学童クラブ登録状況推移(各年度4月1日現在)]

年度	25	26	27	28	29
登録者数	3,331	3,621	3,813	4,018	4,172
待機児童数	70	49	87	84	199

#### (1) 学童クラブの小学校への整備

平成28年度は、下高井戸学童クラブの高井戸第三小学校への移転のため、校舎内に十分なスペースを確保して学童クラブの整備を行いました。また、既存の児童館内学童クラブについても、育成室の拡張を行い、平成29年度からの児童の受入枠の拡大に努めました。

[学童クラブの小学校への整備による受入枠の拡大数] 1クラブ 37人

[児童館内学童クラブの育成室拡張による受入枠の拡大数] 3クラブ 87人

## (2) 障害児・重度重複障害児の受け入れ推進等

### ア 特別支援児の受入

障害等により、学童クラブの育成上、特別な支援が必要な児童の受け入れを行っています。受け入れ後は、専門家による巡回指導等を実施し、一人ひとりに応じたきめ細やかな対応をしています。

### イ 重度重複障害児の受入

重度の身体障害と重度の知的障害を併せ持つ児童を、高円寺北学童クラブで6名まで受け入れています。

### ウ 学童クラブへの通所支援

自力で学童クラブへの通所が困難な障害児とその家庭を支援するために、通所支援ボランティアの募集、登録、斡旋を行っています。

## (3) 民間学童クラブ運営費助成

民間学童クラブ事業者の経営安定を図り、学童クラブ需要に応えるため、運営費の一部を助成しています。

## 3 小学生の放課後等居場所の充実

### (1) 児童館の運営

児童館は、0～18歳子ども達が気軽に利用できる身近な居場所であり、遊びや自主的な活動等を通して、子ども達が心身ともに健やかに成長できるよう支援しています。

[ 開館時間 ] 月～金曜日:午前10時～午後6時(第2月曜日を除く。一部児童館は毎週月曜を除く。)

土・日曜日:午前9時～午後5時ただし日曜日(一部児童館は、第2月曜日を除く毎月曜日)は団体、親子等のグループ利用に限る。

[ 休館日 ] 第2月曜日、祝日(こどもの日や日曜日と重なる日を除く。一部児童館は例外あり。)、年末年始(12月28日～1月4日)

[ 設置状況 ] 40館

[ 児童館の利用者数推移(サンカード利用日を含む) ]

年 度	24	25	26	27	28
利用者数	1,330,842	1,340,079	1,397,761	1,527,106	1,564,559

※24～27年度は41館。28年12月11日以降は40館

### (2) 小学校内での放課後等居場所事業の実施

区立施設再編整備計画に基づき、保護者の就労状況にかかわらず、放課後、小学校の余裕教室等を活用して子どもに居場所を提供し、遊びや学習を支援する放課後等居場所事業を段階的に実施します。

平成28年度は6校でモデル実施を行いました。平成29年4月には、杉並和泉学園において、区内で初めての本格実施を計画しています。

#### 4 子どもプレーパーク事業の実施

区内の公園を利用して、子ども達が自らのアイデアや創造力を活かし、自由に遊びを作りだすことができる「子どもプレーパーク事業」を、NPO法人との協働提案事業により実施しています。

#### 5 中・高校生の居場所の充実

##### (1) 児童青少年センター（ゆう杉並）の充実

児童青少年センター（ゆう杉並）は、中・高校生世代を主な利用者として平成9年に設置したものです。中・高校生世代の多様なニーズに応えるとともに、自主的な活動への支援を行っています。

[ 開館時間 ] 火～土曜日：午前9時～午後9時（午後7時～午後9時は、中高校生登録団体利用のみ）

日曜・祝日：午前9時～午後5時

[ 休館日 ] 第2・4月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）

※第1・3・5月曜日はサンカードの親子当日利用のみ

[ センター利用者数推移（サンカード利用日を含む） ]

年 度	24	25	26	27	28
利用者数	66,459	66,526	65,189	60,497	60,596

##### ア 中・高校生世代の自主活動の支援

ゆう杉並を利用する中・高校生の自主グループ作りを支援することで、やる気を引き出し、主体性の向上を図ります。また、「自主企画実現システム」など、利用者自らが企画実施できる機会を提供しています。

##### イ 中・高校生運営委員会活動の推進

利用者である中・高校生がゆう杉並の運営に自ら参画できるよう、中・高校生運営委員会を組織し、一年を通じて活動を支援しています。

##### (2) 中・高校生の新たな居場所づくりの推進

区立施設再編整備計画に基づき、中・高校生が集い交流し、仲間づくりをすることができる新たな居場所づくりについて具体化を進めています。

#### 6 青少年の健全育成支援

##### (1) 中・高校生の赤ちゃんふれあい事業等の実施

赤ちゃんへの愛着感情を醸成し、将来、親として子どもを育てる際の貴重な体験として生かされるよう、赤ちゃんとのふれあい事業を進めています。

年 度	24	25	26	27	28
実施数	49	44	30	33	37

##### (2) 地域・団体との連携による健全育成の推進

##### ア 地域子育てネットワーク事業の充実

各小学校区域で「出会い・ふれあい・支えあい」をスローガンに、地域ぐるみの子育てを目指して、地域子育てネットワーク事業を実施しています。地域との協働等による地域の伝統行事等の実施を通じ、世代を超えた地域の交流を促進し

ています。また、区民からの企画を積極的に取り入れた事業(区民企画事業)を行い、地域交流活動の促進を図っています。

## イ 青少年健全育成団体への活動支援

地域で青少年の健全育成を図ることを活動目標とする青少年育成委員会(17団体)に対し、活動費の一部を助成したり、青少年の健全育成をめざす地域団体の事業に共催・後援等を行ったりするなどして、地域における青少年健全育成事業の円滑な実施を支援しています。

### (3) 青少年善行表彰の実施

善い行いをした青少年を表彰することにより、善意の行為の気運を高めています。

年度	24	25	26	27	28
個人(名)	98	139	145	151	209
団体(団体)	45	30	30	30	25

### (4) 成人祝賀のつどいの実施

成人を祝うとともに、大人の自覚を促すため、成人の日に「成人祝賀のつどい」を実施しています。平成25年度から、中学校時代の旧友との交流機会を提供するなど、会場となる杉並公会堂全館を活用したプログラムを実施しています。

年度	24	25	26	27	28
対象者数(名)	4,396	4,485	4,722	4,477	4,718
参加者数(名)	1,989	2,169	2,338	2,135	2,192

### (5) 未成年者の飲酒・喫煙・薬物乱用の防止対策

#### ア 飲酒・喫煙防止対策の推進

未成年者の喫煙防止対策の普及啓発として、平成15年度から小学校5年生から中学3年生の児童・生徒を対象に、未成年者の喫煙防止標語・ポスターの募集を行っています。入選作品は保健所及び区役所に掲示しています。また、入賞作品でポスター(カレンダー)を作成し、区内小中学校や図書館、地域区民センターなどの区内施設に配布しています。

また、区立小学校6年生全員に喫煙防止教材、区立中学校2年生の全員に飲酒・喫煙防止の教材を配布しています。年1回、計64校。

[ 喫煙防止標語・ポスターの応募件数 ]

年度	24	25	26	27	28
標語	854件	1,209件	590件	567件	743件
ポスター	137件	221件	154件	188件	229件

#### イ 薬物乱用防止対策の推進

東京都知事より委嘱された「東京都薬物乱用防止指導員」16名(麻薬中毒者相談員、薬剤師会、防犯委員、保護司、民生委員児童委員、青少年育成委員等)及び、杉並区から委嘱された指導員2名により構成される「東京都薬物乱用防止推進杉並地区協議会」が、組織的に薬物乱用を根絶するため、各種の啓発活動や小中高の学校を中心に薬物乱用防止教室を行っています。

杉並保健所生活衛生課がこの協議会の事務局として、区内中学校を対象とし

た薬物乱用防止ポスター・標語の募集や薬物乱用防止駅頭キャンペーンを実施しています。

[ 薬物乱用防止ポスター・標語募集(区内中学校) ]

年度	24	25	26	27	28
標語	10校 1,055件	5校 262件	7校 521件	5校 633件	5校 811件
ポスター	10校 308件	7校 262件	12校 376件	12校 453件	10校 326件

[ 薬物乱用防止駅頭キャンペーン ]

実施日時	場所	内容
平成28年7月13日(水) 午後2時～	JR荻窪駅南・北口	のぼり旗の掲示 チラシ、ティッシュペーパー等の配布 呼びかけ活動

**(6) 青少年問題協議会の運営**

青少年問題に関する総合的な施策に対して必要な事項を調査審議するとともに、区内関係機関・団体との連絡を密にするために設置された区長の附属機関です。

[ 構成 ] 地域関係者・教育関係者の代表、学識経験者、関係行政庁の職員、区に勤務する職員

[ 開催状況 ] 平成28年度 第一回 平成28年5月24日

**(7) 友好都市交流事業**

杉並区の交流自治体である群馬県東吾妻町、北海道名寄市と、小学4年～6年生を対象とした子ども交流会を実施しています。

なお、平成24年度から次世代育成基金活用事業としています。

**(8) 青少年の自主性・社会性の向上、社会参加・参画の推進**

**ア 自主性・社会性・創造性を育む機会の拡大**

将来の進路や職業選択を支援する「ハローワーク事業」や中高生世代が自ら企画・実施していく活動を通して、子どもたちの自主性・社会性を高める取組を行っています。

小学生に対しては、子ども祭り・お化け屋敷・グループ活動など、子どもにとって魅力ある遊び・行事を通して、自ら可能性を広げ健やかに成長していけるよう支援しています。

**イ 青少年地域情報サイト「Cedre (セドル)」の運営**

中高校生に有益な地域情報や児童青少年センターの施設空き情報などをリアルタイムで発信するウェブサイト「cedre(セドル)」の運営に中高校生が関わることで、自主性や社会性を育てています。

### (9) 更生事業補助

保護司会の活動費の一部を助成するとともに、保護司会や地域団体と推進委員会を組織し、“社会を明るくする運動”(法務省主唱)に取り組んでいます。

[ 社会を明るくする運動 ](平成 28 年度)

実施日	活動名	内容	開催場所	参加人数
7月6日	駅頭広報活動	区立中学生参加による啓発用グッズの配布、標語の掲示、PR	区内 17 駅	1,270
7月18日	SUGUNAMI ひまわりフェスタ	式典、JAXA職員の講演、チアダンス、青少年育成団体によるゲームコーナー、更正保護活動団体による刑務所作業製品の販売等	セシオン杉並	800

### (10) 青少年の意識調査の実施

青少年の生活実態や将来に対する目標について調査し、区の青少年施策の検証に向けた基礎的な資料としています。